

(様式第2号)

# SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日:	令和6年10月15日
事業者名:	株式会社 堀組

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み	関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標		
環境	水質汚染が発生しないライフラインの構築事業（工事）により出た汚水は正しく処理し水質への環境負担をなくします。再生資源の資材購入に努める。資材の過剰発注を行わない。環境負担の少ない車両（エコカー）や機械の導入	⑥安全な水とトイレを世界中に、⑫つくる責任つかう責任、⑬気候変動に具体的な対策を	再生資材を購入、利用を開始している。予備を考えた過剰発注の削減。役員・技術者・営業の移動車両 エコカー（ハイブリット車）を使用。	指標	再生資源の利用の促進 建設廃棄物の再資源化	
				目標	2030年までに再生資源の利用率 90%以上 建設廃棄物の再資源化100%	
社会	働き方改革を推進する中で、働く事の意義・志の向上に努め働きがいを高めていく。IS09001認証所得による質の高いインフラ整備の標準化。事業継続計画（BCP）策定による災害時の自治体との復旧協力。	⑧働きがいを促進し、⑩住み続けられるまちづくりを、⑪パートナーシップで目標を達成しよう	IS09001認証所得 事業継続計画（BCP）の策定し、建設協会を通じ自治体（岐阜県）に提出・認証所得	指標	IS09001の持続的認証（更新） 事業継続計画（BCP）持続的認証（更新）	
				目標	上記2項目は今後、更新審査 継続審査等の更新活動を実施 事業継続計画（BCP）に関しては国交省中部地方整備局に令和6年10月中旬に申請を行う。	
経済	携わる公共事業のネットワーク（交通網や水質網）の構築による経済成長の一助となるよう取り組む。 新しい技術、工法を取り入れインフラ整備（交通網）に取り組む。 長期使用できる質の高いインフラ整備を実施します。	⑧働きがいを促進し、⑨産業と技術革新の基盤をつくろう、⑩住み続けられるまちづくりを	IT技術の導入による、技術者への作業負担軽減 公共工事（道路整備等）受注によるインフラの整備や維持	指標	IT技術導入により 技術者・従事者の残業時間や休日出勤等の時間外労働の削減 IS09001認証所得による工事の標準化	
				目標	IT技術導入による時間外労働の削減、1人あたりの時間外労働を5時間/1カ月以内を目標に取り組む 工事完了後の評価点 83点以上を目指す。	
ガバナンス	チェック	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている（PDCAサイクル等）。 <具体的な内容を記載>  項目については、IS09001による社内会議により情報共有 取組に関して社内にて掲示				
	<input checked="" type="checkbox"/>					SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。
	<input checked="" type="checkbox"/>					SDGsへの取り組みの内容をホームページに掲載 <a href="http://www.hori-gumi.co.jp">http://www.hori-gumi.co.jp</a>